

平成30年度 行政評価表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	21人	電話番号(内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	----------	--------------------------

総合計画の位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり
	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>

年度	H28	H29	H30	R01	R02
予算額(千円)	719,937	690,629	697,729		
決算額(千円)	710,582	683,526	693,831		
決算額の内繰越明許分	-				

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。
 ※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。
 ※赤字: 補正・流用により当初予算額から変更した予算額
 ※繰越明許: 年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て翌年度に繰越して使用するもの。
 予算要求年度に予算額を、実執行年度に決算額及び繰越明許額を記載。

所管する施策の方向一覧	Ⅲ-5-31-(1)ごみの減量・資源化の推進
	Ⅲ-5-31-(2)ごみの適正処理
	Ⅲ-5-31-(3)環境衛生の向上

成果指標【行政改革大綱における取組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	R01	R02
1人当たり1日のごみ排出量	市民1人が1日に出すごみの排出量	目標	943g	943g	943g	943g以下	943g以下
		実績	947g	923g	907g		
		進捗状況	遅れ	順調	順調		
ごみのリサイクル率	ごみの排出量のうち、リサイクルされた資源ごみの割合	目標	25%	25%	25%	25%	25%
		実績	13.7%	13.9%	13.9%		
		進捗状況	遅れ	遅れ	遅れ		
各推進員の活動回数【10(仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】	推進員単独での活動と市との協働での活動の合計	目標	推進員依頼者数25人	6回以上	6回以上	6回以上	6回以上
		実績	20人	13回	19回		
		進捗状況	遅れ	順調	順調		
直営による収集運搬業務数【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】	平成33年度に全ての一般廃棄物収集運搬等業務を委託化	目標	—	—	—	業務数1減	業務数2減
		実績					
		進捗状況					
ごみ処理広域化に係る調査研究【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】	調査研究した回数	目標	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	1回	1回	1回		
		進捗状況	順調	順調	順調		
制度見直し検討回数【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】	三島市廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行った回数	目標	1回以上	1回以上	—	—	—
		実績	3回	制度改正			
		進捗状況	順調	順調			
ごみ袋への処理手数料の上乗せ検討回数【58 ごみ処理の有料化】	三島市廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行った回数	目標	生活系自己搬入ごみ有料化	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	H28.4.1から施行	0回	3回		
		進捗状況	順調	遅れ	順調		

施策の方向	Ⅲ-5-31-(1)ごみの減量・資源化の推進
-------	------------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ減量及び分別等に関する市民意識調査」及び「ごみ組成分析調査」の結果を基礎資料とし、廃棄物処理対策審議会の意見を伺う中で、平成31年度以降を計画期間とする次期一般廃棄物処理基本計画を策定する。 ・更なるごみの減量や資源化を推進するため、引き続き出前講座の開催やごみ減量トレンド等広報誌の発行を行う。 ・本市のごみ減量に最も効果的な生ごみの減量に向け、引き続き「だっくす食ん太くんNEO」の販売や生ごみ処理容器の無償貸与事業を実施するとともに、小学生に対する食品ロス削減講座を実施する。 ・ごみの減量や資源化に関する周知啓発の強化のため、引き続き、ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働でごみの減量や資源化に係る事業を実施する。 ・集積所からの一般廃棄物持ち去りの監視体制を強化するため、現在不法投棄監視業務委託の中で週1回実施している集積所の早朝監視を週3回に増やすとともに、必要に応じて職員による早朝監視を実施し、廃棄物の持ち去り防止に努める。 ・リサイクル率の向上を図るため、引き続き分別品目拡大について調査研究を行う。 ・引き続きフリーマーケット事業を実施するが、費用対効果を再度分析し、今後の事業の在り方について検討を行う。 ・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。 ・新規最終処分場建設の際に国から交付金を受けるために必要な循環型社会形成推進地域計画を策定する。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】 ごみの減量や資源化に関する周知啓発の強化のため、引き続き、ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働でごみの減量や資源化に係る事業を実施する。</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】 駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】 次期一般廃棄物処理基本計画策定時に生活系ごみ袋への手数料の上乗せについて検討を行う。</p>

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・次期一般廃棄物処理基本計画の策定 ・出前講座の開催及びごみ減量トレンド等広報誌の発行 ・「だっくす食ん太くんNEO」の販売、生ごみ処理容器無償貸与事業の実施及び小学生に対する食品ロス削減講座を実施 ・ごみ減量アドバイザーの活動支援及び市とアドバイザーの協働でのごみの減量や資源化に係る事業の実施 ・集積所からの廃棄物持ち去り対策として、不法投棄監視業務委託の中で実施している集積所早朝監視を週3回実施 ・市民や委託業者からの廃棄物持ち去りの通報に基づき、職員の集積所早朝監視を実施 ・分別品目拡大についての調査研究 ・フリーマーケット事業の実施及び費用対効果を再度分析した上での今後の事業の在り方についての検討 ・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会への参加及び広域処理の可能性のある市町に対する個別の情報収集 ・近隣市町とのごみ処理広域化の方向性についての調査研究 ・循環型社会形成推進地域計画の策定
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】 ごみ減量アドバイザーの活動支援及び市とアドバイザーの協働でのごみの減量や資源化に係る事業の実施</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】 駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会への参加、広域処理の可能性のある市町に対する個別の情報収集、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性についての調査研究</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】 次期一般廃棄物処理基本計画策定時における生活系ごみ袋への手数料の上乗せについての検討</p>

3 実施内容に対する評価(Check)

<p>実施(改善)計画に対する今年度の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理対策審議会の答申内容を踏まえ、2019年度から2030年度を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)を策定した。 ・ごみの減量や資源化を推進するため、出前講座(22回)を開催した。また、ごみ減量トレンドイ等の広報誌(11回)を発行した。 ・生ごみの減量を推進するため、ダックス食ん太くんNEO(115個)を販売又は配布した。また、生ごみ処理容器無償貸与事業として、コンポスト(30基)及びばかし容器(18基)を貸与した。更に、小学4年生の清掃センター施設見学時に食品ロス削減講座(33回)を実施した。 ・市とごみ減量アドバイザーの協働で、ミックス古紙分別啓発活動、もったいない食器市、食品ロス削減にかかる料理講座を実施するとともに、打ち合わせ会議を9回開催した。 ・集積所からの廃棄物持ち去り対策として、不法投棄監視業務委託の中で実施している集積所の早朝監視回数を週3回に増加させた効果により、持ち去りに関する市民等からの通報回数が減少した。(H30:5件、H29:9件、H28:9件、H27:11件、H26:11件) ・分別品目拡大について調査研究を行い、令和元年度から靴・革製品等の拠点回収を実施することになった。 ・フリーマーケット事業の在り方について検討を行い、令和元年度から市直営による年間2回(午前・午後)の開催とし、出店者から出店料を徴収することとした。 ・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加し、広域化に関する県のスタンスを確認するとともに、広域処理の可能性のある近隣の裾野市と長泉町と情報交換を行った。 ・新規最終処分場整備の際に、国から交付金を受けるために必要な循環型社会形成推進地域計画を策定した。
<p>【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価</p>	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】市とごみ減量アドバイザーの協働で、ミックス古紙分別啓発活動、もったいない食器市、食品ロス削減にかかる料理講座を実施するとともに、打ち合わせ会議を9回開催した。</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加し、広域化に関する県のスタンスを確認するとともに、広域処理の可能性のある近隣の裾野市と長泉町と情報交換を行った。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】2019年度から2030年度を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)を策定し、重点的な取り組みとして、生活系ごみ袋への手数料の上乗せを規定した。</p>

4 評価結果に対する改善内容(Action)

<p>次年度の事業のあり方(改善措置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)に基づき、ごみの減量や資源化に関する施策を推進する。 ・更なるごみの減量や資源化を推進するため、引き続き、出前講座の開催やごみ減量トレンドイ等広報誌の発行を行う。 ・ごみ減量に最も効果的な生ごみの減量に向け、引き続き、生ごみ処理容器の無償貸与事業や「だっくす食ん太くんNEO」の販売事業を実施するとともに、地中埋込式生ごみ処理機の調査研究を行う。 ・食品ロスの削減に向け、不要食材を利用した料理講座や清掃センター施設見学時の小学生に対する講座を実施するとともに、市内小中学校での周知啓発など新たな施策について調査研究を行う。 ・周知啓発の強化を図るため、引き続き、ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働事業を行う。また、平成31年度末で第1期アドバイザーの任期が終了するため、第2期アドバイザーの養成講座を行う。 ・集積所からの廃棄物持ち去りの監視体制を維持するため、引き続き不法投棄監視業務委託の中で集積所の早朝監視を実施するとともに、必要に応じて職員による早朝監視を実施することにより、廃棄物の持ち去り防止に努める。 ・新たな資源化品目として、靴・革製品等の拠点回収を行う。 ・容器包装廃棄物の資源化を推進するため、容器包装リサイクル法に基づく第9期分別収集計画を策定する。 ・フリーマーケット事業について、市直営による年間2回(午前・午後)の開催とし、出店者から出店料を徴収する。 ・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。
-------------------------	--

【行革取組項目】 次年度の対応方針	【10（仮称）3R活動推進員の養成及び活動支援】周知啓発の強化を図るため、引き続き、ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働事業を行う。また、令和元年度末で第1期アドバイザーの任期が終了するため、第2期アドバイザーの養成講座を行う。 【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。 【58 ごみ処理の有料化】生活系ごみ袋への手数料の上乗せについて、他市町の実施状況や実施による効果等を調査し、本市への導入について検討を行う。
----------------------	---

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績						今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02		
1 一般廃棄物処理 基本計画の推進事 業 【行革取組番号10】 【行革取組番号55】 【行革取組番号58】	1 ごみ減量効果の把握 及び検証	把握・検証回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持	
			実績	3回	2回	2回				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 広報誌による啓発	広報掲載回数	目標	6回	6回	6回	6回	6回	維持	
			実績	8回	9回	11回				
			達成状況	達成	達成	達成				
	3 出前講座の開催	開催回数	目標	12回	12回	20回	20回	20回	維持	
			実績	30回	26回	22回				
達成状況			達成	達成	達成					
4 ダンボールコンポスト 「だっくす食ん太くん NEOの販売」	販売数	目標	100個	100個	50個	50個	50個	維持		
		実績	40個	19個	115個					
		達成状況	未達成	未達成	達成					
5 ごみ減量アドバイザー 養成講座の実施	講座回数	目標	6回	-	-	-	-	拡大	令和元年度に第2期アドバ イザー養成講座を行う。	○
		実績	6回							
		達成状況	達成							
6 ごみ減量アドバイザー と協働による事業実施	事業実施回数	目標	-	6回	6回	6回	6回	拡大	アドバイザー活動が軌道に 乗ってきたため、事業実施回 数の目標を拡大する。	○
		実績		13回	19回					
		達成状況		達成	達成					
7 集積所からの資源古 紙等持ち去り禁止条項 制定に関する審議	審議回数	目標	2回	-	-	-	-	終了	廃棄物処理対策審議会での 審議が終了し、H28.11.15に答 申をいただいた。	
		実績	2回							
		達成状況	達成							
8 ごみ処理広域化の方 向性について調査研 究	調査研究回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持		○
		実績	1回	1回	1回					
		達成状況	達成	達成	達成					

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	R01			R02
1 一般廃棄物処理 基本計画の推進事業 【行革取組番号10】 【行革取組番号55】 【行革取組番号58】	9	ごみ袋への処理手数料の上乗せ検討回数	目標	生活系自己搬入ごみ有料化	1回	1回	1回	1回	維持	○
			実績	H28.4.1～施行	0回	3回				
			達成状況	達成	未達成	達成				
	10	フリーマーケットの開催	目標	10回	10回	10回	10回	10回	縮小	近年の出店応募者数の減少 や他市町の実施状況等を踏 まえ、開催回数を縮小する。
			実績	8回	8回	8回				
			達成状況	未達成	未達成	未達成				
	11	フリーマーケットの開催	目標	460店	460店	460店	460店	460店	縮小	開催回数の縮小に伴い、出 店数の目標を縮小する。
			実績	406店	363店	324店				
			達成状況	未達成	未達成	未達成				
2 生ごみ処理容器 無償貸与事業	1	コンポスト容器の無償貸与	目標	30件	30件	30件	30件	30件	維持	
			実績	31件	20件	30件				
			達成状況	達成	未達成	達成				
	2	ぼかし専用容器の無償貸与	目標	30件	30件	30件	30件	30件	維持	周知方法等を工夫し、貸与件 数の増加を図る。
			実績	22件	10件	18件				
			達成状況	未達成	未達成	未達成				
3 一般廃棄物資源 化事業	1	ミックス古紙の分別回収	目標	350t	400t	400t	400t	400t	維持	
			実績	395t	417t	405t				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2	小型家電の分別回収	目標	170t	170t	130t	130t	130t	維持	
			実績	115t	132t	154t				
			達成状況	未達成	未達成	達成				
	3	葉付き剪定枝の資源化	目標	50t	3t	3t	3t	3t	拡大	新たに、市民が清掃センター に搬入する葉付き剪定枝を 資源化する。
			実績	2.77t	6.69t	21.30t				
			達成状況	未達成	達成	達成				
	4	廃プラスチック類等の 分別品目拡大の検討	目標	2回	2回	2回	2回	2回	維持	
			実績	2回	2回	3回				
			達成状況	達成	達成	達成				
	5	資源化中間処理業務	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	3164.19t	3167.43t	3092.25t				
			達成状況	達成	達成	達成				

施策の方向	Ⅲ-5-31-(1)ごみの減量・資源化の推進
-------	------------------------

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		R01歳出(千円)		R02歳出(千円)				
	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)			
	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)			
1 一般廃棄物処理計画事業 (01.04.02.01.020.01) 【行革取組番号10】 【行革取組番号55】 【行革取組番号58】	1,732	(1,732)	5,530	(5,300)	5,198	(3,929)					削減		○
	1,650	(1,650)	5,203	(4,995)	4,515	(3,785)							
2 なし													
3 一般廃棄物資源化事業 (01.04.02.03.020.05)	16,640	(533)	19,826	(3,726)	19,213	(7,043)					維持		
	15,146	(646)	17,260	(89)	19,030	(10,298)							

施策の方向	Ⅲ-5-31-(2)ごみの適正処理
-------	-------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各種一般廃棄物収集運搬等業務委託について、契約担当課と協議して、適切な複数年契約の方法を検討していく。また、他市における同種業務の委託金額を調査し、契約額の妥当性を検証していく。 ・粗大ごみ戸別収集事業について、利用者の更なる増加を図るため、引き続き広報誌等の活用により市民への周知を行っていく。 ・新たな少量排出事業者制度について、4月1日から変更後の届出受付を開始し、10月1日から事業者用指定ごみ袋を導入する。事業者用指定ごみ袋については市内小売店等と一般廃棄物処理手数料収納事務委託契約締結に向け、規則の改正や小売店等との協議など必要な手続きを行う。また、制度の定着に向け周知活動に努める。 ・施設管理については、本年度と同様処理施設の突然の機能停止を発生させないために、予防保全を前提として一部機器について前倒しで整備や修繕を行う。また財政面とのバランスを保ちながら工事の平準化にも努力する。 ・最終処分場については、第3処分場の延命化を考慮し本年度と同程度の焼却灰の外部搬出を行い、それと並行して喫緊の課題である新規最終処分場の建設を推進するため、「(仮称)三島市新規最終処分場候補地選定委員会」を立上げ、将来の新規最終処分場建設に繋げる。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 令和2年度からの臨時職員の雇用形態変更に関する情報に注視し、賃金上昇を見込んだ上での委託と直営の費用検証や業務内容の変更等を検討していく。</p>

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種一般廃棄物収集運搬等業務委託について、契約担当課と協議して、適切な複数年契約の方法を検討する。また、他市における同種業務の委託金額を調査し、契約額の妥当性を検証する。 ・粗大ごみ戸別収集事業について、広報誌等の活用により市民への周知を行い、利用者の増加を図る。 ・新たな少量排出事業者制度に係る変更後の届出受付を4月1日から開始し、10月1日から事業者用指定ごみ袋を導入する。事業者用指定ごみ袋については市内小売店等と一般廃棄物処理手数料収納事務委託契約締結に向け、規則の改正や小売店等との協議など必要な手続きを行う。また、制度の定着に向け周知活動に努める。 ・施設管理については、本年度と同様処理施設の突然の機能停止を発生させないために、予防保全を前提として一部機器について前倒しで整備や修繕を行う。また財政面とのバランスを保ちながら工事の平準化にも努力する。 ・最終処分場については、第3処分場の延命化を考慮し本年度と同程度の焼却灰の外部搬出を行い、それと並行して喫緊の課題である新規最終処分場の建設を推進するため、「(仮称)三島市新規最終処分場候補地選定委員会」を立上げ、将来の新規最終処分場建設に繋げる。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 臨時職員の雇用形態変更に関する情報収集を行い、必要な情報を入手できた場合は、変更後の必要経費を試算し、委託にかかる経費との比較を行う。また、併せて業務の分割や統合など業務内容変更等について検討する。</p>

3 実施内容に対する評価(Check)

<p>実施(改善)計画に対する今年度の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各市における各種一般廃棄物収集運搬等業務委託の契約方法及び委託金額の調査を実施した。 ・粗大ごみ戸別収集事業については、ごみ減量トレンドへの掲載等により市民への周知を図ったことにより、1日あたりの収集件数が前年度よりも増加した。(H30:7.2件、H29:6.0件) ・新たな少量排出事業者制度については、平成30年4月1日から変更後の届出受付を開始した他、市内小売店等と事業系一般廃棄物処理手数料徴収事務等委託契約を締結し、同年10月1日から当該小売店等で手数料の徴収と少量排出事業者用指定ごみ袋の配布を開始した。また、新たな制度の定着に向け、市内事業者への通知文の発送や戸別訪問等による周知活動を実施した。 ・施設管理について、処理施設の機能停止は行政サービスの低下となることから許されなため、予防保全を考慮し、一部機器について前倒して整備や修繕を行った。また財政面とのバランスを保ちながら修繕の平準化を目途とし前年度同等の金額以内を目指したが、施設全体の老朽化や、人手不足等による人件費の高騰などの関係で修繕費が上昇した。 ・最終処分場については、2492.64tの焼却灰及び不燃物残渣を外部搬出し、現在使用している第3処分場の延命化を行った。しかしながら、第3処分場の残余容量は9.76%と逼迫しているため、新たな最終処分場の整備に向け、三島市新規最終処分場候補地選定委員会を組織し検討を行った。
<p>【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価</p>	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】令和2年度から臨時職員が会計年度任用職員制度に変更となるが、賃金や勤務時間などの詳細が示されていないことから、直営と委託の費用検証や業務内容変更の検討が難しいため、検討を一時休止した。</p>

4 評価結果に対する改善内容(Action)

<p>次年度の事業のあり方(改善措置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種一般廃棄物収集運搬等業務委託については、県内各市を対象に実施した契約方法及び委託金額の調査結果を参考に、適切な複数年契約の方法の検討及び委託金額の妥当性の検証を行い、令和2年度分契約に反映させていく。 ・粗大ごみ戸別収集事業については、利用者の更なる増加を図るため、引き続き広報誌への掲載等により市民への周知を図っていく。 ・少量排出事業者制度については、改正後の制度の定着に向け、更なる周知活動に努めるとともに、集積所の監視等による違反者対策を行う。 ・施設管理については、本年度と同様、処理施設の突然の機能停止を発生させないために、予防保全を前提として一部機器について前倒して整備や修繕を行う。また財政面とのバランスを保ちながら修繕の平準化にも努力する。 ・最終処分場については、本年度と同程度の焼却灰等の外部搬出を行い、第3処分場の延命化を図る。また、それと並行して、喫緊の課題である新規最終処分場の建設を推進するため、新規最終処分場候補地選定委員会での審議を経て、本年中を目途に最終処分場の候補地を1か所に絞り込み、地元説明会等を実施する。 ・大規模災害時の復旧・復興の妨げとなる災害廃棄物を適正かつ迅速に処理するため、災害廃棄物処理計画を平成29年3月に策定したが、近年発生した大規模災害からの教訓等を受け、国の災害廃棄物対策指針が改正されたため、それを踏まえ、県の災害廃棄物処理計画と整合を図るなかで、本市の計画をより実効性の高いものに見直しを行う。
<p>【行革取組項目】 次年度の対応方針</p>	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】令和2年度から始まる会計年度任用職員制度の詳細情報に注視し、大規模災害時の災害廃棄物処理に要する人員の確保を考慮したうえで、直営と委託の費用検証や業務内容の変更について検討していく。</p>

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針		行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02	改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	
1 一般廃棄物収集 運搬業務委託事業	1 一般廃棄物収集運搬 業務委託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,757	1,763	1,770				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 一般廃棄物収集運搬 業務委託	一般廃棄物収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	24,236t	23,257t	22,128t				
			達成状況	達成	達成	達成				
	3 資源古紙回収業務委 託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,463	1,338	1,296				
			達成状況	達成	達成	達成				
	4 資源古紙回収業務委 託	資源古紙収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,118t	1,016t	890t				
			達成状況	達成	達成	達成				
	5 ペット容器配布・回収 及び収集運搬業務委 託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	488	492	493				
			達成状況	達成	達成	達成				
1 一般廃棄物収集 運搬業務委託事業	6 ペット容器配布・回収 及び収集運搬業務委 託	ペットボトル・白色トレ イ等収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	65t	64t	65t				
			達成状況	達成	達成	達成				
	7 一般廃棄物収集容器 配布業務委託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,458	1,470	1,474				
			達成状況	達成	達成	達成				
	8 一般廃棄物収集容器 配布業務委託	収集容器配布数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	219,622個	218,917個	219,309個				
			達成状況	達成	達成	達成				
2 一般廃棄物収集 運搬等業務の全面 委託化事業 【行草取組番号49】	1 直営による一般廃棄 物収集業務の委託化	直営による収集運搬 業務数	目標	—	—	—	業務数1減	業務数2減	維持	○
			実績							
			達成状況							
3 ごみ処理サービ ス提供事業	1 ふれあいさわやか回 収事業	利用者数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	125世帯	164世帯	178世帯				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 粗大ごみ戸別収集事 業	利用者数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,124人	1,412人	1,748人				
			達成状況	達成	達成	達成				

事業名	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績						今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			No.	年度	H28	H29	H30	R01			R02
4 少量排出事業者 制度見直し事業 【行革取組番号57】	1 制度見直しに係る審議 (H29以降は検討)	審議回数 (H29以降は検討回 数)	目標	3回	1回	-	-	-	終了		○
			実績	3回	制度改正						
			達成状況	達成	達成						
	2 制度定着に向けた周 知	届出事業所数	目標	-	-	2,000事業所	2,500事業所	3,000事業所	維持		
			実績			2,225事業所					
			達成状況			達成					
5 処理施設整備事 業	1 粗大ごみ処理施設基 幹的設備整備工事	完成時期	目標	平成29年3月	-	-	-	-	終了	平成28年度で「粗大ごみ処理 施設基幹的設備整備工事」 が終了したため。	
			実績	平成29年3月							
			達成状況	達成							
	2 新規最終処分場候補 用地調査	調査箇所	目標	1箇所	-	-	-	-	終了	平成28年度で「最終処分場 候補用地調査業務委託」が 終了したため。	
			実績	1箇所							
			達成状況	達成							
	3 三島市新規最終処分 場候補地選定委員会 の開催	開催回数	目標	-	-	2回	1回	-	拡大	平成30年度は1回の開催と なったが、令和元年度は3回 の開催を予定している。	
			実績			1回					
			達成状況			未達成					
6 施設管理業務委 託事業	1 ごみ焼却処理施設の 運転管理	ごみ焼却稼働日数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持		
			実績	360	358	360					
			達成状況	達成	達成	達成					
7 施設補修事業	1 ごみ処理施設の補修	施設平均稼働日数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持		
			実績	360	360	360					
			達成状況	達成	達成	達成					
8 ダイオキシン対 策事業	1 排ガスのダイオキシン 類調査	ダイオキシン類測定 回数	目標	30回	30回	30回	30回	30回	維持		
			実績	30回	30回	30回					
			達成状況	達成	達成	達成					
	2 排ガス・浸出水等のダ イオキシン類調査	ダイオキシン類測定 箇所数	目標	26箇所	26箇所	26箇所	26箇所	26箇所	維持		
			実績	26箇所	26箇所	26箇所					
			達成状況	達成	達成	達成					
9 災害廃棄物処理 計画策定事業	1 災害廃棄物処理計画 の策定	完了時期	目標	平成29年3月	-	-	-	-	終了	平成29年3月に策定が完了し たため。	
			実績	平成29年3月							
			達成状況	達成							

施策の方向	Ⅲ-5-31-(3)環境衛生の向上
-------	-------------------

1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の環境問題に対する意識の高揚を図るため、引き続き各種イベントを開催していくが、より多くの市民に参加してもらえるような周知啓発の方法を検討する。 ・清潔で快適な住みよい生活環境を維持するため、引き続き防疫活動を実施していくほか、自治会などが実施する環境美化活動や防疫活動に対する支援を行う。 ・不法投棄の減少を図るため、引き続き不法投棄監視員及び業務委託による巡回監視活動を実施するほか、警察との連携により不法投棄の防止を図る。 ・地域における環境美化推進のリーダーである環境美化推進員が円滑に活動できるよう引き続き支援を行うとともに、各種研修を実施して環境美化推進員の資質の向上を図る。
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の環境問題に対する意識の高揚を図るため、三島の川をきれいにする奉仕活動、統一美化キャンペーン、環境美化推進大会、環境衛生週間ポスター・標語展を開催する。 ・より多くの市民に各種イベントに参加してもらえるよう、広報等で関心を引くような掲載方法を検討する。 ・定期的にユスリ蚊等の駆除を実施するほか、市民から相談により随時駆除を実施する。 ・自治会が実施する町内清掃や防疫活動の支援を行う。 ・不法投棄防止対策として、不法投棄監視員による定例巡回監視を行う。 ・不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務委託により、不法投棄の巡回監視と不法投棄物の適正処理を行う。 ・環境美化推進員活動補助事業により、環境美化推進員の円滑な活動を支援する。 ・環境美化推進員の資質の向上を図るため、施設研修や視察研修などを行う。
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	<ul style="list-style-type: none">・三島の川をきれいにする奉仕活動、統一美化キャンペーン、環境美化推進大会、環境衛生週間ポスター・標語展を開催し、市民の環境問題に対する意識の高揚を図った。・各種イベントの開催について、広報みしまや市ホームページ、市長定例記者会見等で市民への周知を図った。・ユスリ蚊の駆除については、定期的に薬剤散布を実施したほか、市民からの相談により随時駆除を実施した。また、ネズミの駆除について、市民からの相談により駆除薬剤を配布した。・自治会が実施する町内清掃の際に、汚泥等運搬用車両の手配や、防疫用薬剤及び土のう袋等の配布を行った。・不法投棄監視員による定例巡回監視を実施し、不法投棄の防止及び不法投棄物の回収を行った。・不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務委託を実施し、不法投棄の巡回監視及び不法投棄物の適正処理を行った。・環境美化推進員活動補助事業を実施し、環境美化推進員の円滑な活動を支援した。・環境美化推進員に対して施設研修や視察研修を実施し、環境美化推進員の資質の向上を図った。
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	<ul style="list-style-type: none">・市民の環境問題に対する意識啓発を推進するため、引き続き各種環境イベントを開催していくが、より多くの市民が参加するような周知啓発の方法を検討する。・清潔で快適な住みよい生活環境を維持するため、引き続き防疫活動を実施していくほか、自治会等が実施する環境美化活動や防疫活動に対して支援を行う。・不法投棄の減少を図るため、引き続き不法投棄監視員及び業務委託による巡回監視活動を実施するほか、警察との連携により不法投棄の防止を図る。・地域における環境美化推進のリーダーである環境美化推進員が円滑に活動できるよう、引き続き支援していくとともに、各種研修を実施して、環境美化推進員の資質の向上を図る。
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針		行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	R01	R02	改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	
1 環境衛生推進事業	1 三島の川をきれいにす る奉仕活動	参加者数	目標	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	維持	
			実績	2,000人	2,000人	2,000人				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 統一美化キャンペーン	参加者数	目標	350人	350人	350人	350人	350人	維持	同日に他の清掃イベントが あったため未達成となった。
			実績	374人	335人	309人				
			達成状況	達成	未達成	未達成				
	3 環境美化推進大会	参加者数	目標	300人	300人	300人	300人	300人	維持	同時期に環境美化推進員の研修 会を開催したため、環境美化推 進員の参加が少なくなり未達成と なった。
			実績	301人	228人	298人				
			達成状況	達成	未達成	未達成				
	4 環境衛生週間ポス ター・標語展	応募点数	目標	1,500点	1,500点	1,500点	1,500点	1,500点	維持	
			実績	1,884点	1,824点	1,767点				
			達成状況	達成	達成	達成				
	5 ユスリ蚊等駆除	薬剤散布件数	目標	200件	200件	200件	200件	200件	維持	ユスリ蚊の大量発生が少な かったため未達成となった。
			実績	218件	182件	106件				
			達成状況	達成	未達成	未達成				
2 不法投棄対策事業	1 不法投棄監視員定例 巡回監視	巡回実施回数	目標	9回	9回	9回	9回	9回	維持	
			実績	9回	9回	9回				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 不法投棄監視及び廃 棄物回収分別業務委 託	業務実施日数	目標	240日	240日	240日	240日	240日	維持	
			実績	240日	240日	240日				
			達成状況	達成	達成	達成				
3 環境美化推進員 活動補助事業	1 環境美化推進員活動 費補助金交付	交付団体数	目標	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	維持	
			実績	1団体	1団体	1団体				
			達成状況	達成	達成	達成				
	2 環境美化推進員活動 費補助金交付	交付金額	目標	1,925千円	1,925千円	1,925千円	1,925千円	1,925千円	維持	
			実績	1,925千円	1,925千円	1,925千円				
			達成状況	達成	達成	達成				

施策の方向

Ⅲ-5-31-(3)環境衛生の向上

6 各事務事業に対する事業費

予算費目の事業名、補助金(細節)名	事業費										次年度の コスト方 向性	決算額増減の理由・改 善状況等	行政改革 大綱にお ける取組
	H28歳出(千円)		H29歳出(千円)		H30歳出(千円)		R01歳出(千円)		R02歳出(千円)				
	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)	予算額	(うち一般財源)			
	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)	決算額	(うち一般財源)			
1 環境衛生推進事業(01.04.01.07.010.01)	1,015	(1,015)	884	(884)	966	(966)					維持		
	832	(832)	781	(781)	904	(904)							
2 環境衛生推進事業(01.04.01.07.010.01)	928	(928)	760	(760)	739	(739)					維持		
	680	(680)	670	(670)	722	(722)							
2 一般廃棄物収集運搬業務委託事業 (01.04.02.02.020.01)	7,500	(7,500)	6,400	(6,400)	6,200	(6,200)					維持	公開見積合せの結果に より不用額が発生した。	
	6,037	(6,037)	4,990	(4,990)	4,288	(4,288)							
3 環境美化推進員活動費補助金 (01.04.01.07.010.88.19.51)	1,925	(1,925)	1,925	(1,925)	1,925	(1,925)					維持		
	1,925	(1,925)	1,925	(1,925)	1,925	(1,925)							

平成30年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	21人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数	
													正職員	その他職員
一般廃棄物処理基本計画の推進事業 【行革取組番号10】 【行革取組番号55】 【行革取組番号58】	フリーマーケット	フリーマーケット	広報誌による啓発 フリーマーケット	フリーマーケット	広報誌による啓発	広報誌による啓発 フリーマーケット	広報誌による啓発 フリーマーケット	フリーマーケット	広報誌による啓発 フリーマーケット		フリーマーケット	広報誌による啓発 フリーマーケット	3062H	0H
	集積所からの廃棄物持ち去り防止対策として集積所の早期監視実施													
	一般廃棄物処理基本計画(ごみ編)の策定・生活系ごみ袋への処理手数料の上乗せ検討													
	フリーマーケットの事業の在り方検討													
	ごみ減量効果の把握・検証													
	出前講座の開催													
	ダンボールコンポストの販売													
	食品ロス削減講座の実施													
	ごみ減量アドバイザーの支援・協働事業の実施													
	ごみ処理広域化の調査研究													
生ごみ処理容器無償貸与事業	コンポスト容器の無償貸与												93H	0H
	ぼかし専用容器の無償貸与													
一般廃棄物資源化事業	ミックス古紙の分別回収												1288H	19707H
	小型家電の分別回収													
	葉付き剪定枝の資源化													
	容り法改正の確認	資源化中間処理業務(粗大ごみ処理、可燃ごみ受入、PETボトル、白色トレイ、乾電池、蛍光管業務)										容り法改正の確認		
	分別品目拡大の調査研究													

平成30年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	21人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数	
													正職員	その他職員
一般廃棄物収集運搬業務委託事業					委託業者による一般廃棄物分別収集等の実施								559H	0H
					適切な複数年契約の方法の検討									
					他市における委託金額調査、契約額の妥当性検証									
一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化事業 【行革取組番号49】					直営と委託の費用検証、業務の分割・統合の検討								186H	0H
ごみ処理サービス提供事業					ふれあいさわやか回収事業の実施								37H	4854H
					粗大ごみ戸別収集事業の実施									
少量排出事業者制度見直し事業 【行革取組番号57】					届出書受付								1868H	1681H
					手数料収納事務委託契約に係る規則の改正									
					事業者用指定ごみ袋取扱店協議・手数料収納事務委託契約締									
					事業者用指定ごみ袋の作製									
処理施設整備事業					事業者用指定ごみ袋の販売								4482H	0H
					制度の周知活動									
					新規最終処分場候補地選定業務委託発注業									
施設管理業務委託事業					選定委員会委員に関する業務								2352H	0H
					(仮称) 三島市新規最終処分場候補地選定委員会に関する庶務									
施設管理業務委託事業					焼却施設運転管理業務・施設設備等保守業務・警備保障業務・水質検査業務・大気測定業務・最終処分場残余容量測量業務・粗大ごみ受入業務・可燃性処理困難物解体業務・焼却灰等外部搬出業務・集じん灰溶出試験業務の委託発注及び履行									

平成30年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	21人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数		
													正職員	その他職員	
施設補修事業			← 焼却処理施設前期修繕 →						← 焼却処理施設後期修繕 →					1680H	0H
			← 粗大ごみ処理施設前期修繕 →						← 粗大ごみ処理施設後期修繕 →						
ダイオキシン対策事業	← ごと焼却処理施設ダイオキシン類測定業務の委託発注及び履行 →												1119H	0H	
環境衛生推進事業	準備	三島の川をきれいにする奉仕活動(13日)												1120H	1025H
	準備	統一美化キャンペーン(26日)													
	準備		環境美化推進大会(7日)												
			環境衛生週間ポスター・標語の募集依頼				ポスター・標語優秀作品の展示	ポスター・標語優秀作品の表彰式							
							ユスリ蚊防除薬剤散布								
不法投棄対策事業														466H	186H
							不法投棄監視員定例巡回監視(毎月第3木曜日)								
環境美化推進員活動補助事業		統一美化キャンペーン参加 理事会開催 施設研修実施	環境美化推進大会参加 補助金交付					静岡県環境衛生大会参加				視察研修実施		466H	0H

平成30年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	21人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数	
													正職員	その他職員
その他施設係 業務	← その他施設係内業務 →												568H	934H
その他業務係 業務(課長含 む)	← その他業務係内業務 →												3737H	94H
その他収集係 業務	← その他収集係内業務 →												828H	10747H